

## コロナ禍でのより安心・快適な患者搬送を目指して クラウドファンディングで製作したドクターカー専用アイソレーター完成イベント 【イベント・記者発表：12月11日（土）9時30分～12時@大阪大学吹田C】

### 概要

国立大学法人大阪大学は READYFOR 株式会社と実施しているクラウドファンディングプログラム「大阪大学×READYFOR」にて、「コロナ禍における安心・快適な患者搬送をめざして、ドクターカー用オリジナルアイソレーター製作費を募るクラウドファンディング」を2021年3月22日(月)から2021年5月31日(月)まで実施しました(URL:<https://readyfor.jp/projects/handai-99>)。結果、第二目標金額の1,000万円を超えるご寄附をいただき、ドクターカー用オリジナルアイソレーターを製作することができました。



(アイソレーターのカバー部分が完成しました。患者の足元に人工呼吸器等を置く台を配置、リクライニングは4段切り替えることができます。完成後はマットレスを敷きます。)

### イベントについて

【日時】 2021年12月11日(土)9時30分～ ⚠️ 小雨決行・雨天時一部イベント中止

【場所】 大阪大学吹田キャンパス コンベンションセンター/グラウンド「すいらん」

※取材当日は9時30分までにコンベンションセンターへお越しください。

※土曜日の開催となるため、お車でお越しの方は【東門】よりご入構ください。

### 【内容】

9時30分～ クラウドファンディング（アイソレーター製作）の報告  
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 医師 入澤 太郎 他  
(於 大阪大学吹田キャンパス コンベンションセンター)

10時15分～ ドクターヘリ、ドクターカー、DMATカーに関する説明  
・ドクターヘリ、ドクターカー、DMATカーの展示  
・アイソレーターの公開  
・高度救命救急センター及びDMAT等活動内容のパネル展示&説明  
(於 大阪大学吹田キャンパス グラウンド「すいらん」)

### 本件プロジェクトについて

大阪大学医学部附属病院は災害拠点病院として災害時にDMAT(災害派遣医療チーム)を各地へ派遣していますが、新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生施設へも派遣し活動を行ってきました。2020年4月にはドクターカーとDMATカーを新たに導入し、本院で急性期は乗り越えたが、人工呼吸器管理を要する新型コロナ陽性患者をこれまでに154名、次の病院へ安全に搬送してきました。(2021年10月末時点)

新型コロナ陽性患者をドクターカーで搬送する際には、感染対策としてビニール製のアイソレーターを使用し

ています。ビニール製のアイソレーターは患者にとって閉塞感があり、透明性が低いため医療者側も患者の顔色等を観察しづらくコミュニケーションが取りにくい状況です。またドクターカー車内の感染防止の準備や帰院してからの消毒・清掃等にかかる時間は通常の患者搬送に比べ約 2 時間多く、1 日に搬送できる患者数が制限され、スタッフにも負担がかかっていました。

そのため、患者の閉塞感や不安を取り払い、医療スタッフの安全確保と負担軽減にも役立つ、双方にとって安心・快適な樹脂製のオリジナルアイソレーターを製作することを目標にプロジェクトを立ち上げました。

オリジナルアイソレーターの実現により、新型コロナウイルス感染症への対応だけでなく、類似の感染症や災害時にも活用でき、多くの患者を安全に安心して搬送できるようになります。

<大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 副センター長 小倉 裕司>

このアイソレーターは、人工呼吸器を必要とする寝たきりの重症患者から、座位(ヘッドアップ)をとることのできる軽症の患者まで幅広く対応できるものです。このような仕様の製品は市販されておらず、試行錯誤の末にやっと完成しました。何分、大きなものですので、樹脂の成型が特に難しく、職人さん達が大変苦勞されたと聞いております。出来上がったカバー部分を見て、当初のデザイン画のイメージ通りのものが出来上がっていました。日本の職人さん達の技術力に改めて驚きました。